

平成23年10月行事予定

佐賀市立東与賀中学校 平成23年9月27日現在

| 日  | 曜 | 校内行事   | 短縮 | 教育課程 |   |   |   |   |   |
|----|---|--|----|------|---|---|---|---|---|
| 1  | 土 |  |    |      |   |   |   |   |   |
| 2  | 日 | (小学校体育大会)  |    |      |   |   |   |   |   |
| 3  | 月 | 「いじめ(命)を考える日」/<br>生徒会専門部会                            |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | 生 |
| 4  | 火 | 職員朝会/市駅伝大会   |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5  | 水 | 生徒朝会/学年部会/フッ素<br>洗口                                  |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | 研 |
| 6  | 木 |  |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7  | 金 | 研究推進委員会  |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 8  | 土 |  |    |      |   |   |   |   |   |
| 9  | 日 |  |    |      |   |   |   |   |   |
| 10 | 月 | 祝「体育の日」  |    |      |   |   |   |   |   |
| 11 | 火 | 職員朝会/全国学力・学習状<br>況調査3年生                              |    | 臨    | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 |
| 12 | 水 | 学年朝会/校内研究会<br>フッ素洗口                                  |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | 研 |
| 13 | 木 | 中間テスト/③④3年SL,<br>⑤⑥1年SL                              |    | テ    | テ | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 |
| 14 | 金 | 中間テスト/③④2年SL/<br>⑤⑥県立高校説明会(3年)<br>/教職員課程英語検定(本<br>校) |    | テ    | テ | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 |
| 15 | 土 | 県Pミニバレー大会  |    |      |   |   |   |   |   |
| 16 | 日 |  |    |      |   |   |   |   |   |
| 17 | 月 | 後期時間講習開始《企》  |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | 研 |
| 18 | 火 | 職員朝会   |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 19 | 水 | 全校朝会/職員会議、フッ素<br>洗口/20:00~PTA定例<br>幹事会               |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | 研 |
| 20 | 木 |  |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 21 | 金 | 市中体連新人戦  |    | 臨    | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 |
| 22 | 土 | 市中体連新人戦  |    |      |   |   |   |   |   |
| 23 | 日 | 市中体連新人戦(予備日)<br>九P 北九州大会                             |    |      |   |   |   |   |   |
| 24 | 月 | 振替休日(10/29分)<br>九P 北九州大会                             |    |      |   |   |   |   |   |
| 25 | 火 | 職員朝会/SL学年発表会<br>3年①②,2年③④,1年⑤<br>⑥                   |    | 臨    | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 |
| 26 | 水 | 表彰集会/生徒指導協議会/<br>フッ素洗口                               |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | 研 |
| 27 | 木 |  |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 28 | 金 | 東中フェスタ・SL 全校発<br>表会リハーサル<br>3年①②, 2年③④, 1年<br>⑤⑥     |    | 臨    | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 | 臨 |
| 29 | 土 | 東中フェスタ・SL 全校発<br>表会                                  |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 30 | 日 |  |    |      |   |   |   |   |   |
| 31 | 月 | 2学期読書週間(~12日)<br>/生徒会専門部会                            |    | ○    | ○ | ○ | ○ | ○ | 生 |

備考

【11月の主な行事】

読書週間(10/31~11/12) 学校訪問(授業研究会)(11/10)フリー参観デー  
(11/4) 3年進路説明会(11/18) 新入生保護者向け説明会(11/18) 期  
末テスト(11/22~11/25) 3年三者面談・1,2年教育相談(11/22~12/3)  
生徒会長選挙(11/28)

【11月のPTA関係】

ノーテレビ・ノーゲームデー(11/1) おにぎり弁当の日(11/9) PTA定  
例幹事会(11/16) 県P研究大会武雄市大会(11/12) 忍耐体験(11/13)

みんなで作る笑顔の絶えない学校の学校通信

# シチメンソウ 10月号

東与賀中学生徒の活躍に保護者・地域・学校のまなざしを!

「みんなで作る笑顔の絶えない学校」とは韮本鉄平生徒会長の学校創造目標です。

子どもに「こうさせたい」時……

校長 野口 敏雄

保護者の皆さん、御家庭で子どもさんと会話していらっしゃいますか？  
とは言っても、中学生段階では、なかなか家族が期待するほどに話をしてくれないもの  
です。しかし、それは、中学生という発達段階によるものだけでなく、家族(大人)の  
側からの話しかけ方にも問題があるように思います。

例えば、身の回りの整理整頓や勉強など、子どもに「こうさせたい」と思っていること  
があった場合、どういう声かけをされていますか。「中学生やろうもん。もうちょっとちゃん  
とせんね。」「早よ、勉強せんね。」こういう言葉をかけられ続けていると、子ども  
は、頭では分かっている、わすらわしく思い、反応しなかったり、関わらない方が得  
策だと考えるようになりがちです。

特に、3年生の保護者の皆さんにとっては、高校入試が近づき、一方で、子どもの  
勉強への構えや生活ぶりに変化がなく焦ることもあられるでしょうが、一考されることを  
お勧めします。

子どもに、「こうさせたい」と思っていることがあった場合、「勉強しなさい。」などストレ  
ートに言うのはいかなるものでしょう。もう一工夫、知恵を出してみてほしいと思うの  
です。

学校でも、生徒に「こうさせたい」と思っていること、例えば、授業で要点をはっきりと  
らえさせたいとか、はきはきと話させたいという場合に、「要点をはっきりつかみなさい  
」と言ったり、「もっとはきはきと話しなさい」と言ったりするのは、工夫が足りないとい  
う気がします。

それは当たり前すぎて、そういうのは、教師らしくない素人的なことと言わざるをえま  
せん。教師は、もう少し知恵を出して「こうさせたい」と思うことを、気がつくと自然にや  
っている、自然に目標に達している、というふうに仕向けなければならないと思うので  
す。それが、生活として教えるということだと思います。

(授業が騒がしくて收拾がつかなかった場合、静かにさせるだけの指導案を作っ  
ていなかった、指導力に問題があるのではないかとと言われても仕方ありません。)

そのためには、「ほめること」が大切だと言われます。しかし、「ほめる」場面やチャ  
ンスをただ待つのではなく、「ほめるタネをまいておく」ことが肝要です。勿論、ほめる  
タネを一生懸命作っておかなければなりません。

「勉強せんね。」「早よ、せんね。」とストレートに言うばかりでなく、知恵を絞って、  
『その気にさせる』工夫をしましょう。……でも、これが難しいんですよね。腕の  
見せ所です。

『幼な子は 母の口ぐせ そのままを こけし抱きしめ 言い聞かせ』

長崎市に投下された原子爆弾で多くの市民とともに被爆し、白血病と闘いながら  
被爆者への救護活動を続け、原爆に関する医学的な研究と「長崎の鐘」や「この  
子を残して」など多くの著作を残した永井隆博士の短歌

10月29日(土) 東中フェスタ

午前中はSLタイム(総合的  
な学習の時間)の学年代表、英  
語部唱大会の各学年代表の生徒  
たちが発表します。午後は、合  
唱コンクールです。また、会場  
出入口付近では、教科で制作した  
研究物を展示しています。



# 9 東与賀中生徒の 9月の活躍と承認

職員も

東与賀中の生徒の良さを知っていただき、ちょっとしたときに「がんばっていたね!」と声をかけていただければと思っています。よろしく願いいたします。



## 9月1日(木) 始業式 決意発表

本校では、学年代表の生徒が始業式時に決意発表を、終業式時に振り返り発表を、全校生徒の前で発表します。決意発表では、今学期を過ごすにあたり、これまでの反省を生かし、抱負を述べます。発表後は、担任の先生が発表した生徒のすばらしさを全校生徒に紹介します。



### 2学期の目標

1B 井原葉介

僕たちがこの東与賀中に入学して5カ月がたちました。1学期の間、僕たちは慣れない中学校生活の中で、苦勞したり、たくさん失敗したりしていました。しかも、小学校とはちがいで、宿題には自学ノートや各教科からの課題が出て、毎日大変でした。それに、順位が決まるテストがあり、勉強方法で悩んだり、テスト前はどきどきしたりしました。また、部活動も先輩たちについていくのがやっとなので、何度もぼてそうになりました。みんなそれぞれ苦勞したと思います。でも一方、慣れすぎて自学ノートを忘れたり、提出物の期限を守れなかったりしている人がいました。遅刻をしたこと、時間を守らなかったりする人もいたので、やるべきこと、当たり前のことをしっかりと取り組んでいきたいと思っています。▼この1学期の反省点をいかして、これからの2学期を、ほどよい緊張感と中学生としての自覚を持って過ごしたいと思っています。また、2学期の総務に選ばれたのは驚きましたが、それと同時に責任感とやる気ができました。みんなにも協力してもらいながら一生懸命頑張りたいです。

### 2学期の目標

3A 山田真実

私は中学生になって初めて1学期の総務の仕事に就きました。総務になったことで皆をまとめるのがどれだけ難しいかを学びました。簡単な仕事でも確実にこなしていくためにはしっかりと自覚がないとできないことも学びました。▼そして2学期になって私は体育大会の副団長という仕事にも就きました。演技構成などを考えるのは大変でした。でも何とか仕上げることができました。一つのものを作り上げることができ充実した夏休みになりました。だからこそ、体育大会では絶対優勝したいです。▼最後に私は今年受験生です。部活動も終わり、中学生最後の夏休みも終わりました。もうそろそろ勉強を始める時期となりました。今のままでは合格できないので本気でこれから勉強をしたいと思っています。今のうちに努力していれば必ずよい結果がついてくると信じて頑張りたいです。

### 2学期の目標

2B 相浦一樹

僕の2学期の目標は3つあります。一つ目は部活動です。1学期までは先輩方が引っ張っていかけてくれたのですが、2学期からは僕たちが主体となって部活動しなければなりません。1学期は、三年生に甘えていた部分がありました。これからはそういう気持ちを取り払い、心機一転で頑張りたいと思います。▼学習面では、1学期はテスト前だけに勉強をしていましたが、2学期には、さらに上を目指そうとできるように毎日勉強をします。また、1学期の途中から自学ノートを出さなくなりました。自学ノートは成績をあげる上でとても大切だと思います。だから、自学ノートをしっかり復習をしていきたいです。▼生活面では、身の回りの整理整頓をすることが目標です。僕は、整理整頓が苦手な身が散らかりがちです。そのせいか人に迷惑をかけることもあります。だからこの目標にしました。▼最後に2学期には、体育大会、東中フェスタなどの大きな行事があります。それらに一生懸命取り組み、クラスで一致団結して、良い結果を残すことができるようにしたいと思います。

## 9月11日(日) 最高の仲間達と共に限界を突破した、第55回 意気衝天体育大会

東与賀中の体育大会は、各学年3クラスが縦割りで団を結成します。1年生から3年生までの全ての生徒が、赤団、黄団、青団のいずれかに所属し、団員のすべての力を結集して競います。競技種目の中でも、団別集団演技は団員の心が一つにならなければ良い演技になりません。演技は演技構成から選曲までのすべてを、各団の核となる団長、副団長らが考えます。今年も昨年までに勝とも劣らないすばらしい演技で参観者の感動を呼びました。さて、それぞれ100名近くの団員を統率し、各団を立派にまとめ上げた3名の団長の感想を紹介します。



### 蒼龍乱舞青団野田大志団長 (そうりゅうらんぶ)

団長として体育大会に参加し大変だったことは、何よりも団全体をまとめることでした。本番では、団員全員が一つになることで優勝できたので本当に嬉しかったです。今回の体育大会では、上に立つ人の責任など、いろいろな事を学びました。団員のみならず、支えてくれた全ての方々へ感謝しています。

### 嚇咲天翔赤団鳥谷司記団長 (すざくてんしょう)

団長として苦勞したことは、ダンスや演舞を一から作り上げ、それを1、2年生に教えることでした。当日まで、一生懸命練習し、当日は最高の演技ができたことがよかったです。今回の体育大会で学んだことを今後の生活に生かしていければと思います。ありがとうございました。

### 麟鳳麒麟黄団福地将吾団長 (りんほうきりゅう)

団長として苦勞したことは、ダンスをみんなで揃えることでした。そのための練習メニューを作るのは大変でしたが、団員がそれについてきてくれたことが何よりも嬉しかったです。いろいろなことを学びましたが、一人一人の力が結集できたすばらしい体育大会だったと思います。

団長を支え、団長とともに団の優勝に向かって団をまとめた副団長たちの言葉です。

辻 紫苑黄団副団長「副団長として、団をまとめることも団長をサポートすることは大変難しいことでした。最初、思うように下級生を動かさないと苛立ちを感じたりしていましたが、本番では、最高の演技をし、一番まとまった団と確信しました。みなさんに感謝しています。

高祖 毅赤団副団長「副団長の仕事を通して、人をまとめること、団長をサポートすることの難しさを知りました。練習では、下級生への指示が大変でしたが、本番では全員が一生懸命踊ってくれたのでよかったです。みなさんに感謝しています。

古賀慎太郎青団副団長「副団長として難しかったことは、団をまとめることも大きな声を出させることが大変でした。でも、下級生が一生懸命頑張ってくれたので、とてもうれしかったです。みなさんに感謝しています。

富吉あすか青団副団長「副団長になった時には、人に嫌われるくらい厳しくなくてはいけないことを学びました。はじめは1、2年生に楽しく踊って欲しいと思い、厳しくしませんでした。日がたつにつれ焦りもあり厳しくなっていました。ですが、それでも下級生がついてくれたので、最後には最高のパフォーマンスができたと思います。心からみなさんに感謝しています。

山田真実黄団副団長「私は副団長というおおきな仕事に就いたときから、皆を一つにするためにどんな時も全力で取り組んできました。自分のクラスを見ていると、体育大会が近づくにつれて絆が深まり、一つになっていく様子が分かりました。きっと、下級生のクラスも「そうなんだろうな。」と、うれしかったです。最初から私たち3年生に協力してくれた1、2年生へは感謝しています。そして最高のパフォーマンスができたと思います。

旅田美紅赤団副団長「副団長になり、大切なことを学びました。それは、人に指導することはとても大変なことだと思います。話を聞いてくれる時もありましたが、そうでない時もありました。不安な時期もありましたが、体育大会が近づくにつれて団がまとまってきました。みなさんのおかげと感謝しています。